

生物多様性はままつ戦略 2018

～みんなでツナグ自然の恵み～

平成 30 年 4 月

浜 松 市

－ はじめに －

浜松市では、生物多様性の保全と、持続可能な利用に向けた取組みを体系的・総合的に推進し、市民・事業者・市が連携して生物多様性の危機に対応し、浜松市を持続可能な都市としていくため、平成 25（2013）年 3 月に「生物多様性はままつ戦略」（以降、2013 戦略という）を策定しました。



今回、策定から5年が経過したことから、これまでの取組みの成果を検証し、地域内外の状況変化をふまえて、改定を行うものです。

改定にあたり、2013 戦略の重点プロジェクトや生物多様性モニタリング調査などの結果を踏まえて、新たに明らかとなった課題を整理し、目指すべき将来像の実現に向けた、新重点プロジェクトを設定しました。

生物多様性の保全に向けては、環境分野だけで取組みを進めるということだけでなく、経済や社会の観点からの取組みも非常に重要であるという考え方が、今、世界の主流になってきています。目指すべき将来像の実現のため、市はもちろん、市民・市民団体・事業者・専門家などを含むすべての関係者の連携や協力のもとに、達成に向けた取組みを推進していきます。

平成 30 年 4 月

目 次

本 編

第 1 章 生物多様性とは

- 1 生物多様性の重要性 1
- 2 生物多様性の恵み（サービス） 2
- 3 生物多様性の危機 4

第 2 章 浜松市の生物多様性の現状

- 1 市の自然環境 6
- 2 市内の希少種 9
- 3 市内の外来生物 11
- 4 市内の注目すべき場所 13

第 3 章 効果検証と今後の課題

- 1 取組みの効果検証 14
- 2 指標の達成状況 18
- 3 市民の生物多様性に関する意識 19
 - (1) 生物多様性についての市民アンケートから 19
 - (2) 生物多様性はままつ戦略タウンミーティングから 20
- 4 新重点プロジェクトの方針 21

第 4 章 改定戦略の目指すべき将来像と基本方針

- 1 目指すべき将来像 22
- 2 基本方針 23

第 5 章 各主体の役割と行動計画

- 1 各主体の役割 25
 - (1) 市の役割 25
 - (2) 市民の役割 26
 - (3) 市民団体の役割 27
 - (4) 事業者の役割 28
 - (5) 専門家（研究者や学術団体）の役割 28
- 2 市の行動計画 29
- 3 市内の取組み 30

4	新重点プロジェクト	32
①	市民が自ら調べるまち	32
②	市民が自ら守るまち	33
③	市民・事業者・行政がつながるまち	34

第6章 推進体制と進行管理

1	推進体制	35
2	進行管理	35
3	目標年次	36

資料編（別冊）

1	市域の概況	1
2	市域の自然環境	20
3	取組みの達成状況	30
4	市内の注目すべき場所	31
5	浜松市の指標種	33
6	生物多様性モニタリング指標	37
7	市民の生物多様性に関する意識	40
8	市の行動計画	81
9	生物多様性はままつ戦略 策定組織	88
10	生物多様性はままつ戦略 策定経過	89

コ ラ ム 一 覧	コラム①	生きものどうしはつながって生きている	2
	コラム②	ピアノ作りは浜松市だからできた！	3
	コラム③	開発から守られた椎ノ木谷	5
	コラム④	一見可愛いリスも！	12
	コラム⑤	国内移入種とは？	12
	コラム⑥	SDGsってなんだろう？	24
	コラム⑦	環境教育と温暖化対策	25
	コラム⑧	アカウミガメ保護事業やってます！	26
	コラム⑨	エシカル消費とは？	27
	コラム⑩	海のゆりかごの多様性を伝えて	30
	コラム⑪	ホタル舞い飛ぶ、美しい里山環境の保全	30
	コラム⑫	海岸ともつながる清流を守る取組み	31
	コラム⑬	ヤリタナゴの生息域外保全	31

